

ADEOS の運用停止と今後の研究計画について*

宇宙開発事業団地球観測データ解析研究センター**

ADEOS (地球観測プラットフォーム技術衛星「みどり」) は、平成 8 年 8 月 17 日に打上げられ、11 月 26 日に定常段階に移行してから約 7 か月にわたって地球環境問題の解明等に役立つ地球観測データの取得を行ってきました。平成 9 年 6 月 30 日 9 時 46 分頃に「みどり」が日本上空を通過した際、宇宙開発事業団地球観測センター (埼玉県鳩山町) において、地球観測データが受信されなかったため、国内外の追跡管制局から、衛星の運用状態の確認、衛星負荷の軽減及び衛星の通信系機器オン等の緊急コマンド送信等を実施しましたが、16 時 21 分以降衛星からのテレメトリデータが受信されず、「みどり」は機能を停止したと判断し、運用を断念するに至りました。

宇宙開発事業団は、平成 9 年 7 月 1 日 14 時 00 分に「みどり」の事故原因究明及び今後の計画に関する検討を行うとともに、所要の対応を策定するため、『地球観測プラットフォーム技術衛星「みどり」事故対策本部』(以下、「事故対策本部」という)を設置いたしました。事故対策本部は、本部、原因究明委員会、今後の計画に関する検討委員会及び事務局から構成され、今後、1 か月以内をめどに検討結果についての中間報告を行い、科学技術庁内に設置されている事故対策本部との連携を取りつつ、原因究明に関する最終報告を取りまとめ参ります。

現在、「みどり」が機能停止に至った事故原因の究明を進めていますが、これまでのテレメトリデータ等の調査、解析、要因分析等の原因究明作業結果に基づき事故発生プロセスを推定しますと、現時点では「太陽電池パドルの発生電力がなくなった原因は、ブラン

ケット破断によってもたらされた可能性が最も高い」と判断しています。ここで改めて「みどり」を利用することになっていた国内外の関係の皆様、及び国民の皆様方の大きな期待に添えなくなったことを深くお詫び申し上げます。

以上述べましたように、「みどり」の運用が停止されたことに伴い、今後この衛星が観測したデータを用いた科学研究、及び応用研究の計画について概要をお知らせします。

1. 「みどり」の PI について

これまでに、「みどり」に搭載された 8 種類のセンサのうち単独、あるいは複数のセンサデータを利用し、校正・検証、地球環境に係わる科学分野の研究推進を目的とした研究公募を行い、主任研究者 (PI) を選定して参りました。現在 197 名 (国内 63 名、国外 134 名) が研究を続けており、「みどり」のミッション期間を前提に設定された平成 12 年 3 月末日まで PI としての権利が継続されます。ここで、「みどり」の運用停止に伴って、これまでの研究内容は 7 月末までに見直される予定です。一方、PI との共同研究に関しては、衛星との同期観測実験等、内容的に実施する意義を失った項目を取り止め、更に内容の見直しを行いつつ少なくとも平成 10 年度までは継続する計画です。

2. 取得済みデータについて

「みどり」運用期間に於ける、センサ毎の取得データの概要を以下に示します。

センサ名	運用期間	取得済みデータ
AVNIR	約 8 か月	日本中心・日照時
OCTS	約 8 か月	全球・日照時
IMG	約 8 か月	一部の不具合により使用可能データ約 2 か月
ILAS	約 8 か月	南北極域

* Scientific plans revised due to loss of ADEOS.

** Earth Observation Research Center (EORC), National Space Development Agency of Japan (NASDA).

© 1997 日本気象学会

RIS	約8か月	問い合わせ中
NSCAT	約9.5か月	全球・日照日陰時
TOMS	約9.5か月	全球・日照時
POLDER	約8か月	全球・日照時

- (b) アルゴリズムの改良作業：
1997/7—1997/9
- (c) 標準成果物の再処理作業：
1997/10—1998/3
- (d) 新規データセットアルゴリズムの開発作業：
1997/7—1998/6
- (e) 新規データセットの作成作業：
1997/12—1999/3

3. 研究計画について

2項に示した様に, AVNIR, RIS を除く ADEOS 搭載センサについては, およそ 8~9 か月の全球データが取得されています. 現状ではまだほとんどのセンサデータは処理の途中ですが, 今後これら限られたデータをセンサ毎に単独で, あるいは目的に応じ組み合わせて研究を推進する計画の見直しを行っています.

4. スケジュールについて

当面, 以下のスケジュール (案) で研究を継続する計画です.

- (a) 校正・検証作業:

1997/7—1997/12

尚, 本件に関するお問い合わせは, 以下宛お願い致します.

問い合わせ先:

宇宙開発事業団 地球観測データ解析研究センター
ADEOS プログラムコーディネータ
中村泰久
TEL : 03-3224-7074
FAX : 03-3224-7051
E-mail : nakamura@eorc. nasda. go. jp



CEReS 国際シンポジウムの開催期日変更のお知らせ

CEReS 国際シンポジウム「衛星データの大気補正とその地球環境の応用」の開催案内を「天気」8月号595ページに掲載しましたが, 開催期日および問い合わせ先が下記の通り変更になりましたので, お知らせいたします.

主 催: 千葉大学環境リモートセンシング研究センター

期 日: 1998年 (平成10年) 1月21日 (水)~23日 (金)

会 場: 千葉大学 けやき会館

〒263 千葉市稲毛区弥生町1-33

(1月23日 (金) 午後に国際ワークショップ「ライダー観測により導出された大気消散係数鉛直分布の精度」を開催します)

問い合わせ先:

千葉大学環境リモートセンシング研究センター
竹内延夫
TEL : 043-290-3849
FAX : 043-290-3857
E-mail : takeuchi@rsirc. cr. chiba-u. ac. jp